

重点目標一覧表

【令和5年度重点目標】

【令和6年度重点目標】

重点目標	人生100年時代を見据えた若い世代からの健康づくりの推進	重点目標	人生100年時代を見据えた子どもや若い世代からの健康づくりの推進
具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）	
達成状況・達成度		期限・数値目標等	
1	① 各種施策推進のための新たな計画の策定 (1) 上田市民健康づくり計画(第四次) (2) 上田市食育推進計画(第3次) (3) 上田市自殺対策計画(第2期) ② 健康幸せづくりプロジェクト事業の推進 (1) 子どもの健康づくり支援 保育園運動プロジェクト「チャレンジキッズ」の実施 若い世代からの健康づくり支援 ア 30歳代若年健診の実施 イ 妊婦無料歯科検診の実施 ウ 二十歳(はたち) 歯科検診の実施 健康づくりチャレンジポイント制度の実施 (2) 健幸ウォーキング事業の実施 (3) あたま・からだ元気体操の実施 (4) 健康づくり応援アプリ「うえいく」の安定した運営 (5) まちかど健康相談室 (6) 「うえいく+(プラス)」事業の実施 ③ 健康づくり啓発事業 (1) セブン&アイ・ホールディングスとの包括連携協定に基づく官民連携イベントの実施 ④ 糖尿病等生活習慣病予防の推進 (1) プログラムに基づいた保健指導の実施 (2) 対象者に応じた受診勧奨の強化(電話、訪問等) ⑤ 検(健)診の受診率向上強化 ⑥ こころの健康づくりの推進 (1) ゲートキーパー研修の実施 (2) こころの健康づくり講座実施	① 新たに策定した各種計画の周知と着実な推進 (1) 健幸都市講演会の開催 (2) 食育推進プロジェクト推進のための庁内連携 (3) 「自殺対策連携会議」によるネットワークの構築 ② 健康幸せづくりプロジェクト事業の推進 (1) 子どもの健康づくり支援 保育園運動プロジェクト「チャレンジキッズ」の実施 若い世代からの健康づくり支援 ア 30歳代若年健診の実施 イ 妊婦無料歯科検診の実施 ウ 歯周病検診の実施 健康づくりチャレンジポイント制度の実施 (2) 健幸ウォーキング事業の実施 (3) あたま・からだ元気体操の実施 (4) 健康づくり応援アプリ「うえいく」の安定した運営 (5) まちかど健康相談室 (6) 「うえいく+(プラス)」事業の実施 ③ 食育の推進 (1) 広報等を通じた情報発信及び学習機会の提供 (2) セブン&アイ・ホールディングスとの包括連携協定に基づく官民連携イベントの実施 ④ 糖尿病等生活習慣病予防の推進 (1) プログラムに基づいた保健指導の実施 (2) 対象者に応じた受診勧奨の強化(電話、訪問等) ⑤ 検(健)診の受診率向上強化 ⑥ こころの健康づくりの推進 (1) ゲートキーパー研修の実施 (2) こころの健康づくり講座実施 ⑦ 妊婦出産包括支援事業の充実と女性のライフサイクルに応じた支援の実施 (1) 出産・子育て応援給付金事業による給付と妊婦・子育て世帯への伴走型相談支援の充実 (2) 共働き家庭にあわせた参加しやすい両親学級の実施 (3) 産後ケア事業の拡充による産婦支援の強化 (4) 「いのちの学級」の内容及び対象者の拡充 ⑧ 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた感染症対策の推進 (1) 上田市新インフルエンザ等対策行動計画の改定 (2) 新型コロナワクチン定期接種化への対応 (3) 予防接種健康被害救済制度の適切な運用	
	① 達成状況・達成度 (1) 幹事会1回、協議会4回、計画策定 (2) 幹事会1回、協議会4回、計画策定 (3) 幹事会1回、連携会議2回、計画策定 ② (1) 運動指導園児数:延べ3,168人 (2) ア (社保)受診者数:366人 ※(国保)受診者数:240人 イ 478人 ウ 124人 (3) 参加者数:9,806人 (新規参加者数:712人) (4) 参加者数:1,519人 (5) 参加者数:3,206人 (6) ダウンロード者数:998人 (7) 19回 (8) 参加者:延べ104人 ③ (1) 7/28(金)開催 ④ (1) 保健指導実施者数:306人 (2) 受診勧奨者数:1,503人 ⑤ 62医療機関に受診勧奨協力依頼実施 ⑥ (1) 修了者20人、フォロー研修受講者61人 (2) 2回開催(R5.6/2、6/9) 延べ36人	① 期限・数値目標等 (1) 1回開催 (2) 庁内連携会議:1回 (3) 1回開催 ② (1) 運動指導園児数:延べ3,000人 (2) ア (社保)受診者数:400人 ※(国保)受診者数:300人 イ 受診者数:500人 ウ 20歳受診者数:150人 (3) 参加者数:10,400人 (新規参加者数:704人) (4) 年間参加者数:1,500人 (5) 参加者数:3,300人 (6) ダウンロード者数:1,000人 (7) 20回 (8) 参加者数:延べ100人 ③ (1) 広報うえだ、ホームページ掲載 (2) 1回開催 ④ (1) 保健指導実施者数:350人 (2) 受診勧奨者数:1,500人 ⑤ 医療機関に受診勧奨協力依頼実施 ⑥ (1) 修了者20人、継続者20人 (2) 年度中1コース開催 ⑦ (1) 8か月妊婦へのアンケート、希望者への面談の実施 (2) 3割の妊婦の参加 (3) 利用者数 130人 (4) 「いのちの学級」開催 20回 ⑧ (1) 国の計画改定に沿った内容見直し (2) 定期接種の実施 (3) 制度の周知と審議会の開催	
2	重点目標 子どもを産み、育てる喜びが実感できるまちづくりの推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） ① 上田市子ども・子育て支援事業計画の進行管理等 (1) 子ども・子育て会議の開催運営 (2) 計画の進行管理 (3) 第3次計画策定のためのニーズ調査の実施 ② 子育てを支援する経済的支援の実施や情報発信 (1) 「上田市出産祝金」の実施 (2) 子育て応援サイト(うえだ家族)への情報提供 (3) 子育て支援情報の内容充実 (4) 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」(仮称)の支給 ③ 地域における子育て支援の充実 (1) 子育てひろばの充実 子育てサポーターの活動支援と養成講座の開催 (2) 地域で活躍している子育て支援団体との連携 ④ 子育て世帯包括支援センターの機能充実 (1) 母子保健コーディネーターと子育て支援コーディネーターの連携強化 (2) 地域の関係機関との連携、協働の体制づくり (3) こども家庭センター設置の検討 ⑤ 妊娠出産包括支援事業の充実 (1) 出産・子育て応援給付金事業による給付と妊婦・子育て世帯への伴走型相談支援の充実 (2) 共働き家庭にあわせた参加しやすい両親学級の実施 (3) 産後ケア事業等による産婦支援の充実	達成状況・達成度 (1) R5.7.28 第1回会議開催実施 (2) R5.7.28 会議にて進捗報告・協議等実施 (3) R5.10.16、R6.2.6 会議にてニーズ調査等協議 ② (1) R5.5~3月支給実績 687児童 16,890千円 (2) R5.5~3月情報更新実績 1,033件 (3) R6年度版 子育て応援ハンドブックを発行 子育て情報メール配信月1回実施 (4) 支給実績:1,795人(1,021世帯) 89,750千円 ③ (1) 子育てサポーター活動回数 428回 (2) 第18回わくわくファミリーフェスタ実施(R5.10.15)、参加者数:139家族 428人 ④ (1) 連携会議 月1回 (2) 各所巡回 月1回 (3) こども家庭センター設置について協議等 ・県主催講演会参加:R5.7/14、1/12、1/25 ・関係課会議:R5.9/28、10/11、10/17、3/18 ⑤ (1) 面談実施者:全体の20.7% (2) 両親学級参加率:27.2% (3) 利用者数90人	
	重点目標 子育てしやすい環境の実現ときめ細かな子育て支援の充実 具体的な重点取組項目（箇条書き） ① 第3次上田市子ども・子育て支援事業計画の策定 (1) 地域子ども・子育て支援事業の検証・評価 (2) 第3次計画策定に向けた全体会、庁内連携会議の運営 ② 子育て世帯への経済的支援の実施 (1) 児童手当の対象年齢の拡大(15歳から18歳までに拡大) (2) 「上田市出産祝金」の継続実施 ③ 子どもを育む地域コミュニティづくりの推進 (1) 子育てひろばの充実 子育てサポーターの活動支援と養成講座の開催 (2) 地域で活躍している子育て支援団体との連携 (3) 「上田市こども家庭センター」の適切な運営 すべての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的な相談支援、関係機関や地域との連携強化 (1) 母子保健機能と児童福祉機能の情報共有・連携強化 (2) 児童虐待対応とヤングケアラーへの支援等の実施 ア 児童虐待やヤングケアラー等に対する支援 イ 要保護児童対策地域協議会の開催による関係機関との連携強化 ⑤ ひとり親家庭への支援の充実 (1) 生活の安定を図るため、就職に有利な資格取得等に対する経済的支援の実施 (2) 子どもの生活・学習支援事業の実施 ⑥ 切れ目ない発達支援事業の基盤づくり (1) 人員体制の強化に向けての検討 ア 発達支援に関する相談窓口の一本化 イ 支援者が孤立することなく連携、相談できる体制の充実 (2) 発達相談、支援の充実 ア 保育園、幼稚園巡回相談の強化 イ 保護者向けグループ相談会の開催 (3) 発達支援に関する支援者の資質向上【定住自立圏取組項目】 ア 上田地域定住自立圏検討会議の開催 イ 発達障害に関する正しい理解と適切な対応について市民向け講演会、支援者向け学習会を定住自立圏構成市町村と共同開催	期限・数値目標等 (1) 子ども・子育て会議で検証・評価 (2) 策定会議等の運営 ② (1) 制度改正の周知・広報等の実施 (2) 「上田市出産祝金」の継続実施 ③ (1) 子育てサポーター活動 300回 (2) 年度を通して実施 ④ (1) 年度を通して実施 保健師、子ども家庭支援員、虐待対応支援員、地域との連携 (2) ア 訪問型支援事業等の実施 イ 要保護児童対策地域協議会 代表者会議 年1回 実務者会議 年3回 ⑤ (1) 高等職業訓練等各種制度の利用者増 (2) 小学5・6年生各15人 ⑥ (1) ア 保育園、幼稚園の発達支援を発達相談センターに集約 イ スパ・バグによる事例学習会1回/月 (2) ア 保育園100回、幼稚園20回 専門職による巡回発達相談50回 イ 2回 (3) ア 検討会 年2回 イ 市民向け講演会 年1回 支援者向け学習会 年1回	

【令和5年度重点目標】

【令和6年度重点目標】

重点目標		重点目標		
幼児教育・保育のニーズに応える子育て支援の推進		幼児教育・保育のニーズに応える子育て支援の推進		
具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）		
達成状況・達成度		期限・数値目標等		
3	① 公立保育園業務の見直しと保育士の資質向上 (1) ICTシステムの活用も含めた業務効率化の検討 (2) 保育園の運営・保育指導体制の強化 (3) 支援が必要な児童に対応する保育士の資質向上 ② 上田市保育施設整備計画等に基づく保育施設の整備 (1) さなだ保育園長寿命化改修工事 (2) 保育施設等の再配置に向けた調査・研究 ③ 保育の受入体制の充実 (1) 私立日向幼稚園認定こども園施設整備事業への支援 (2) 3歳未満児の保育の受け皿拡大の検討 ④ 保育人材の確保 (1) 保育士養成校に通う学生の保育所への就職促進 (2) 再就職希望者への支援 (3) 多様な人材の確保 ⑤ 保育現場の安全確保と質の高い幼児教育・保育の推進 (1) 通園バスの安全対策強化 (2) 公立園の安全対策の見直し (3) 不適切保育の未然防止 (4) 信州型自然保育認定の認定園拡大	① 検討会を延べ7回実施、検討内容を基に業務効率化を促進 (2) 政策幹及び指導主事により園訪問等を通じた指導を実施 (3) 研修会：8回実施 ② (1) 令和5年度実施予定工事完了（2月） (2) 令和5年度末での西内保育園の閉園 ③ (1) 施設整備事業完了（3月）による認定こども園への移行（令和6年4月） (2) 令和6年度民間小規模保育事業所の公募実施に向けた募集要項等作成 ④ (1) 県内3校からの要請により就職ガイダンスに参加（佐久大学、県立大学、上田女子短期大学） (2) 保育のお仕事体験会（2回）泉田保育園5人、まるこ保育園5人参加、職場説明会（2回）9人参加 (3) 事務補助、休憩代替保育士、保育補助員の採用 ⑤ (1) 全通園バス（公立・私立）への安全対策プザーの設置完了 (2) 各園で安全計画を策定、分野ごとのマニュアルにより安全対策を実施 (3) 未然防止の対応手順の周知、チェックリストによる確認 (4) 西塩田保育園の認定	① 公立保育園における質の高い幼児教育・保育の推進、保育士の育成 (1) 保育士研修計画に基づく保育士の育成 (2) 保育園の運営・保育指導体制の強化 (3) 支援が必要な児童に対応する保育士の資質向上 (4) 不適切保育の未然防止 (5) 信州型自然保育認定の認定園拡大 (6) 第三者評価の実施 ② 上田市保育施設整備計画等に基づく保育施設の整備 (1) 旧東内保育園園舎解体工事 (2) 長寿命化改修工事（第2期）の計画作成 (3) 保育施設等の再配置に向けた調査・研究 ③ 保育の受入体制の充実 (1) 令和7年4月開設民間小規模保育事業所の公募及び施設整備 (2) 既存小規模保育事業所の定員拡大に向けた施設整備への支援 ④ 保育人材の確保 (1) 保育士養成校に通う学生の保育所への就職促進 (2) 再就職希望者への支援 (3) 多様な人材の確保	① (1) 計画に基づく研修の実施（通年） (2) 保育課による指導の実施（通年） (3) 保育士を対象とした研修会実施（通年） (4) 対応手順の周知・運用（通年） (5) 1園認定（年度内） (6) 第三者評価の実施（年度内） ② (1) 工事完了（年度内） (2) 保育施設整備計画の改訂（年度内） (3) 再配置計画素案に基づく調整・検討（通年） ③ (1) 事業所選定・施設整備完了（年度内） (2) 補助金交付等による支援・事業完了（年度内） ④ (1) 職場説明会、ガイダンス等への参加（通年） (2) 相談会、保育の職場体験会を各2回開催（通年） (3) 看護師、事務職の採用（通年）
	4	重点目標 医療費適正化の推進と国民健康保険の適切な運営	重点目標 医療費適正化の推進と国民健康保険の適切な運営	重点目標 医療費適正化の推進と国民健康保険の適切な運営
		① 医療費適正化の取組（保険者努力支援制度評価項目） (1) 特定健診の実施率向上 (2) 第三者賠償請求の取組推進 (3) 後発医薬品の利用促進 ② 国保財政の健全な運営 (1) 応益割保険料（医療分）の検討 ③ 収納率の向上と国保資格適用の適正化の推進（国保：(1)(3)保険者努力支援制度評価項目） (1) 収納率の向上 (2) オンライン資格確認等システムを活用した国保脱退勧奨の実施 (3) オンライン資格確認等の実施に伴うマイナンバーカード取得推進 ④ 健康寿命の延伸と医療費の適正化（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施） (1) 事業全体の協議、関係部署との調整・連携 (2) フレイル予防及び健康増進 ア 高齢者に対する個別支援 イ 通いの場等への積極的関与	① 受診率39.8%、受診者数8,021人（R6.3月末） (2) 95.9日（R6.3.24現在） (3) 40～60歳の利用差額200円以上となる該当者に差額通知を送付（2月：50通）、令和6年3月末時点の使用割合85.5% ② (1) 第2回国保運営協議会開催（R6.1.18）、答申（R6.1.29）。その内容を尊重した条例改正案を3月議会に上程、議決 ③ (1) 現年分収納率87.06%（R6.3月末）（前年同期87.43%） (2) オンライン資格確認等システムを利用した脱退勧奨情報ファイルの対象者に、脱退勧奨通知を送付（R6.2.24） (3) 8月1日の保険証の一斉更新の際にマイナンバーカード利用促進リーフレットを同封 ④ (1) 庁内関係部署と必要に応じて会議を開催 (2) ア 保健指導等実施人数：510人 イ 地域サロン・地域リハ等へ実施実施団体数：61団体 参加人数：1,310人	① 医療費適正化の取組（保険者努力支援制度評価項目） (1) 特定健診等実施率向上の取り組み ア 集団健診日程の拡充 イ 集団健診予約システムの導入 ウ 民間事業者を活用した受診勧奨の拡充 (2) 第三者賠償請求の取組推進 (3) 後発医薬品の利用促進 ② 国保財政の健全な運営 (1) 国保税率の検討 ③ 収納率の向上と国保資格適用の適正化の推進（国保：(1)保険者努力支援制度評価項目） (1) 収納率の向上 (2) 被保険者証廃止に向けた調整 (3) オンライン資格確認等システムを活用した国保脱退勧奨の実施 ④ 健康寿命の延伸と医療費の適正化（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施） (1) 事業全体の協議、関係部署との調整・連携 (2) フレイル予防及び健康増進 ア 高齢者に対する個別支援 イ 通いの場等への積極的関与
① 切れ目ない発達支援事業の基盤づくり (1) 人員体制の強化に向けての検討 ア 発達支援に関する相談窓口の一本化 イ 一貫した支援の継続につなげる体制整備の検討 ウ 支援者が孤立することなく連携、相談できる体制の充実 (2) 発達相談、支援の充実 ア 保育園、幼稚園巡回相談の強化 イ 支援ノート「つなぐ」を活用した支援の継続 ウ 4か月健診における作業療法士の個別相談の開催、継続相談の充実 エ 作業療法士による「感覚を育てる運動教室」開催 オ ヘアレントレーニングの開催 カ 保護者向けグループ相談会の開催 (3) 発達支援に関する支援者の資質向上【定住自立圏取組項目】 ア 上田地域定住自立圏検討会議の開催 イ 発達障害に関する正しい理解と適切な対応について、市民向け講演会、支援者向け学習会を定住自立圏構成市町村と共同開催 ② 児童虐待防止とヤングケアラーの早期発見、適切な対応のための体制づくり (1) 子ども家庭総合支援拠点の円滑な運営に向けた機能の充実及び関係機関や地域との連携強化 ア 児童虐待のほかヤングケアラー等の新たな課題に対応するための支援等の実施 イ 要保護児童対策地域協議会の開催による関係機関との連携強化 (2) 児童虐待の発生を未然に防止するため、啓発活動、講演会の開催 ③ ひとり親家庭への支援の充実 (1) 生活の安定を図るため、就職に有利な資格取得等に対する経済的支援 (2) 子どもの生活・学習支援事業の実施		① (1) 集約完了 他職種による巡回相談チームの結成（保育士、作業療法士、理学療法士、心理士） イ 令和6年度採用なし。令和7年度に向けて総務課と交渉 ウ 学習会 臨床心理士11回 作業療法士9回 (2) ア 保育園100回 幼稚園16回 専門職による巡回発達相談50回 イ 新規発行部数54冊 広報やホームページでの周知、相談場面、支援会議での活用 ウ 52回、相談人数：実数134人、OT相談継続74人 エ 幼児3コース実施 オ 4コース実施 カ 3回 (3) ア 検討会3回 イ 市民向け R5.10.21 参加人数83人 支援者向け R5.10.21 参加人数102人 ② (1) こども家庭センター設置調整 訪問支援事業 22世帯346回実施（R6.2月末） イ 要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回 実務者会議 3回 個別支援会議 592回 (2) 講演会 年1回 街頭啓発 1回 広報紙啓発 7回 ③ (1) 高等職業訓練 14人（新規6人） 自立支援訓練 3人 (2) 小学5年生 20人 小学6年生 10人	① 地域医療体制の充実へ向けた事業の着実な推進 (1) 上田市看護師確保修学資金貸与事業の実施 (2) 鹿教湯病院再編に伴う財政支援の実施 (3) 市立産婦人科病院施設の利活用の検討 ② 安定的な医師確保体制の整備と充実 (1) 上田市医師確保修学資金等貸与制度の見直し ③ 救急医療体制の確保 (1) 内科・小児科初期救急センターの運営 (2) 深夜・休日の初期救急患者受入体制に対する支援の実施 (3) 病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援の実施 ④ 地域の医療環境を守るために各医療機関の役割及び適切な受診方法等についての周知 ⑤ 令和6年度から改定された広域連合ふるさと基金を活用した地域医療対策事業の実施 (1) 救急医療従事者（医師・看護師）確保事業 ※新規 (2) 中核病院医療従事者確保事業等 ※継続 ⑥ 信州上田医療センターに対する周産期医療提供体制に対する運営支援の実施	① (1) 制度の周知及び適正な貸与事業の実施（10人） (2) R6年度分の適正な財政支援の実施 (3) 地域医療充実のための有効的な施設利活用について検討 ② (1) 指定医療機関勤務に係る課題解決の検討 既貸与者に対する貸与 4人 ③ (1) 担当医師確保による安定的な運営 開所日 357日 継続した小児科担当医師確保に向けた調整 (2) 病院群輪番制病院等が行う深夜・休日の初期救急患者受入に対する財政支援の実施 (3) 広域連合と連携し、1年を通じた二次救急医療体制確保のための財政支援を実施 ④ 広報等による情報提供 4回以上 講演会の実施 1回以上 ⑤ 広域連合と連携し各種事業の実施 ⑥ 医療従事者増員に対する財政支援の実施（上限20,000千円）
重点目標 多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援の充実	重点目標 救急医療体制の整備と医師・看護師の確保による地域医療体制の充実	重点目標 救急医療体制の整備と医師・看護師の確保による地域医療体制の充実	重点目標 救急医療体制の整備と医師・看護師の確保による地域医療体制の充実	
具体的な重点取組項目（箇条書き）	具体的な重点取組項目（箇条書き）	具体的な重点取組項目（箇条書き）	具体的な重点取組項目（箇条書き）	
達成状況・達成度	達成状況・達成度	達成状況・達成度	達成状況・達成度	
5	5	5	5	

【令和5年度重点目標】

【令和6年度重点目標】

重点目標	地域周産期医療体制と女性のライフサイクルにあった支援の充実	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
6	① 安全で安心な周産期医療提供体制の確保 (1) 信州上田医療センター病棟改修等に対する支援 (2) 信州上田医療センター周産期医療運営に対する支援 (3) 医療機能の再編・集約化にかかる各種手続き (4) 将来の周産期医療等に対する支援検討	① (1) 病棟改修等に対する補助金交付改修等事業費 約190,000千円 交付決定額 160,000千円 完了工期(当初) R6.3.13 ・電材資材搬入遅延のため工期延長 ・終期変更 3月13日→6月30日 ・決定済補助金は翌年度繰越対応 (2) R5年度における医師及び看護師増員に対する運営費支援 20,000千円 (3) 閉院に伴う病床削減に対する給付金受領 58,368千円 (R6.2) (4) 関係機関へ母子保健事業にかかる意見聴取及び集計内容周知による情報共有実施 (14団体)
	② 女性のライフサイクルにあった支援の充実 (1) 子宮がん検診や特定健診の積極的な実施 (2) ホルモン製剤による治療などの幅広い年代の女性に対応したヘルスケア診療の充実 (3) 庁内関係課との連携による出前講座の充実 (4) 「命の学級」の内容及び対象者の拡充	② (1) 子宮がん検診 793件 特定健診 18件 (2) LEP療法 398件 (3) 2件 (4) 15回

重点目標		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等

重点目標	救急医療体制の整備と医師・看護師の確保による地域医療体制の充実	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
7	① これまでの事業の検証、改善策の検討及び事業の推進 (1) 上田市看護師確保修学資金貸与制度の実施 (2) 鹿教湯病院再編に伴う財政支援の準備・検討	① (1) 広報等により制度の周知を図るほか市内高校及び県内大学へ制度周知を実施 R5貸与実績 2人 (2) R6～R11の財政支援の計画策定 財政支援予定総額 574,000千円 R6年度支援額 100,000千円
	② 安定的な医師確保体制の整備と充実 (1) 上田市医師確保修学資金等貸与制度の見直し (2) 信州上田医療センターが実施する医師確保事業への支援 ③ 救急医療体制の確保 (1) 内科・小児科初期救急センターの運営と周知 (2) 深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備 (3) 病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援 ④ 地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報、啓発し、適切な受診を推奨 ⑤ 広域連合ふるさと基金を活用した地域医療対策事業の実施及び事業内容等の検証	② (1) 指定医療機関勤務への課題調査 既貸与者への貸与実施 4人 (2) R6.1末時点医師数 85人(前年同数を維持) ③ (1) R5開所実績 358日 広報にて救急・相談先等の周知実施 (2) 病院群輪番制病院等による深夜・休日における初期救急患者受入体制確保への支援の決定 (3) 広域連合と連携し「広域連合ふるさと基金」の活用による二次救急医療体制に対する財政支援の実施 ④ 医療機関の適正な受診方法等の周知 広報への情報掲載 4回実施 行政チャンネル 1回実施 講演会 2回実施 ⑤ 広域連合と連携し、地域医療対策事業の実施並びにR1からR5までの事業効果検証 R6からR8までの地域医療対策事業計画の決定

重点目標		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等

重点目標	新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う適切な対応	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
8	① 新型コロナワクチン接種の円滑な遂行 (1) 接種対象者が速やかに接種できる環境の整備 (2) 接種対象者が安心して接種できる体制の確保 (3) 接種に対する正しい情報の提供	① (1) 個別接種:59機関、集団接種:4会場 延べ77回、コールセンター継続設置 (2) 地元医師会からの医療従事者派遣、全庁体制での職員動員、会計年度任用職員の積極的採用による集団接種会場における接種体制の確保 (3) ワクチン接種に関する情報をホームページや広報紙を通じて随時提供
	② 国・県の方針に基づく適切な対応 (1) 5類移行後の医療提供体制確保の連携・支援 (2) 広報紙・市メール・SNS等での適時情報発信	② (1) 県主催圏域会議を通じた情報共有(3回) (2) 広報紙記事掲載:4～7月、9月、11月 2～3月 ホームページ更新:113回 メール配信:6回

重点目標		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等